



平成22年度地域密着型金融の取組実績





1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

金融円滑化法の趣旨を踏まえ、「収益シミュレーションシート」「コンサルティングシート」を活用した提案を実施し経営改善計画策定などを通じて、お客様の経営サポートを実施しました。

また、中小企業再生支援協議会の調整機能を活用し、当金庫だけではなく、他金融機関と協調した事業再生計画の策定に取り組みました。

その他にも、課題解決能力向上のために金庫職員の人材育成にも積極的に取り組みました。



2.事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

資金繰り表やCF計算書などを基に将来の資金不足を予想した上でのスピーディな資金供給を行ないました。

定量的な財務情報だけでなく、お客様の事業価値を的確に評価する力を養成するため、職員向けの研修を実施しました。



3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域 経済への貢献

平成22年度も鹿児島相互信用金庫と茶業者懇談会を合同開催し、茶業界が抱える諸問題についての情報交換、意見交換を行い両県の茶業振興と取引活性化を図りました。

取引先企業による展示即売会「しましんふれあい市」を開催し、取引先企業の販路拡大を支援しました。

地域の学校からの職業体験学習の受入れを実施し、金融経済教育にも取り組みました。

地域密着型金融の具体的な取組実績

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

改善計画作成支援の実施	・ ・ ・ ・	21先
経営改善指導の実施	・ ・ ・	109先
ビジネスサミット参加企業数	・ ・	40先
ビジネスフェア参加企業数	・ ・ ・	70先

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

経営相談受付数	・ ・ ・ ・ ・	33件
---------	-----------	-----

経営改善の取組み

経営改善支援の取組み実績

【平成22年4月～平成23年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち				経営改善支援取 組み率 =B/A	ランクアップ率 =C/B	再生計画策定率 =E/B
		経営改善支援取 組み先 B	Bのうち期末に債務 者区分がランクアッ プした先数 C	Bのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先 D	Bのうち再生計画を 策定した先数 E			
正常先 ①	4,965	0		0	0	-		-
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	539	46	3	38	8.5%	6.5%	76.1%
	うち要管理先 ③	2	0	0	0	-	-	-
破綻懸念先 ④	222	28	6	21	17	12.6%	21.4%	60.7%
実質破綻先 ⑤	110	0	0	0	0	-	-	-
破綻先 ⑥	25	0	0	0	0	-	-	-
小 計(②～⑥の計)	898	74	9	59	52	8.2%	12.2%	70.3%
合 計	5,863	74	9	59	52	1.3%	12.2%	70.3%

- 注) ・期初債務者数及び債務者区分は平成22年4月当初時点で整理しております。
- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まれておりません。
 - ・Cには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
 - なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はBに含まれますがCには含まれておりません。
 - ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はCに含まれております。
 - ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しております。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含まれておりません。
 - ・Dには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
 - ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。
 - ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自 の再生計画策定先」